

# 第287回触媒化学研究センターコロキウム

共催 北海道大学グローバルCOEプログラム「触媒が先導する物質科学イノベーション」

## 高温水を利用したバイオマス変換触媒開発

山口有朋研究員（産業技術総合研究所コンパクト化学システム研究センター）



2011年2月10日（木）15:00—16:00

創成科学研究棟5階大会議室

<http://www.cat.hokudai.ac.jp/access.html>

環境に負荷をできるだけかけずバイオマス等の未利用有機資源から化学原料を得る技術開発として、高温水を反応場として利用する触媒技術開発に取り組んでいる。超臨界条件を含む高温水を反応場として、おがくず等の木質系バイオマスに含まれるリグニンを燃料ガスへ変換する触媒開発や、バイオマスから得られる多価アルコールを機能性化学原料に変換する技術開発を紹介する。

問合せ先： 触媒化学研究センター・福岡淳 ([fukuoka@cat.hokudai.ac.jp](mailto:fukuoka@cat.hokudai.ac.jp)/011-706-9140)

略歴： 1996年東京大学理学部化学科卒業、2001年東京大学大学院理学系研究科化学専攻博士課程修了(岩澤研究室)「時間分解 XAFS 装置の開発」、博士(理学)、2001年 東京理科大学理工学部助手「燃料電池カソード電極触媒」、2005年 カリフォルニア大学バークレー校博士研究員「メタン改質反応」、2007年産業技術総合研究所研究員「バイオマス変換触媒」



287th Catalysis Research Center (CRC) Colloquium

Hokkaido University Global COE Program "Catalysis as the Basis for the Innovation in Materials Science"